

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 5 月 25 日作成 第 1.0 版

研究課題名	先天性 QT 延長症候群を対象に小児期 T 波形態による病型診断の可能性を検討する観察研究
研究の対象	2000 年 1 月～2024 年 12 月の間に先天性 QT 延長症候群と診断され、横浜市立大学附属病院小児科を受診している患者さんを対象とします。
研究の目的	先天性 QT 延長症候群の診療において心イベントを予防するための生活指導は重要ですが、遺伝子型により内容が異なります。小児期の 12 誘導心電図から遺伝子型の推定ができないか検討することを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、先天性 QT 延長症候群について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 8 月 28 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2026 年 12 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 8 月 28 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 背景情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、合併症 症状（動悸、失神、心室頻拍、心室細動、心停止、突然死） 12 誘導心電図（中学生時） LQTS 遺伝子型 治療状況：内服薬、植込み型除細動器 転帰
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で、情報は復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 小児科 渡辺 重朗
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 小児科 （研究責任者）渡辺 重朗
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 小児科 （研究責任者・問い合わせ担当者）渡辺 重朗 電話番号：045-787-2800（代表）	